

平成16年度 総合的な学習の時間年間計画（6年） テーマ「伊豆半島沖地震から学ぶ ～わたしたちと地震～」

〈ねらい〉

・伊豆半島沖地震（仲木地震）を出発点とし、地域の人たちへのインタビューやフィールドワーク、防災センターの見学などから、地震や津波について理解し、自主防災の大切さについて知りそれを地域に発信するとともに、ひいては命の大切さを学ぶ。

	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	
主な活動	☆年間のテーマを決めよう < 子 供 の 思 い と 活 動 > ○ 仲 木 地 震 に つ い て 調 べ た い ・ 被 害 状 況 を 詳 し く 調 べ た い ・ さ ら に イ ン タ ビ ュ ー を し た い ・ 自 分 の 住 ん で い る 地 域 の 様 子 を 知 り た い ○ デ ィ グ （ 被 害 想 定 地 図 ） を 作 り た い ○ け が を し た 時 の 応 急 処 置 を 学 び た い ○ 世 界 ・ 日 本 ・ 地 域 ・ 県 別 の 地 震 の 被 害 の 大 き さ を 調 べ た い <地震についてもっと詳しく調べてみよう！！> ① 仲木地震について →仲木地震の慰霊祭に参加<1学期> ② 自分の住んでいる地区の様子 →フィールドワークに出かける<1学期> →ディグの製作<2学期> ③ もし、今、地震がきたらどうなるだろう →インターネットで調べてみよう （静岡県東海地震第3次被害想定）<2学期> ④ わたしたちにできることを考えてみよう →防災倉庫の確認、避難所体験 →応急処置について学ぼう<2学期> ⑤ 地震防災の最前線を学ぼう →静岡県防災センターの見学<3学期>				わ た し た ち と 地 震 ・ フィールドワークでインタビューしたことや調べたことをもとに、東海地震発生時の状況把握や対策について、さらに追究していく（課題設定、学び方・考え方、まとめ方。） ④ もしもの時のために、自分でできる応急処置を学ぼう ○応急処置の方法を学ぼう ・ 三角巾の折り方、使い方をおぼえよう ・ 人の運び方をおぼえよう ・ 人工呼吸の知識をもとう ②、③ もし、東海地震が発生したらどうなってしまうのだろうか？ ○D・I・G（災害図上訓練）の実施 ・ フィールドワークで調べたこと ・ 町からの資料 ・ 静岡県東海地震第3次被害想定 ④ わたしたちにできること、東海地震対策は何だろう？ ○非常持ち出し品リストを作ろう ○ 防災倉庫の確認、避難所について ○ 応急処置について				わたしたちと地震 ・ 劇団ふじさん（富士常葉大学）の防災劇を観る ・ 仲木区長さんの話 ◎自分たちの学習を発信しよう ・ 幼稚園祭 ・ け や き 祭 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ けやき祭の準備をしよう！！ < 個人・グループ・全体 > ◎発表の方法を決めよう。 ○ 新聞にまとめる ○ パンフレットにまとめる ○ プレゼンテーションにまとめる ○ 劇にまとめる ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ☆学習してきたことを整理していこう ①仲木地震の様子 ・ 慰霊祭に参加しての感想 ・ 南中小学区の様子 ②、③ディグ（被害想定図）の様子 ・ 地区のインタビューのから ・ 静岡県東海地震第3次被害想定について ④地震がきたら～自分たちにできること～ ・ 非常持ち出し品について ・ 応急手当について ・ 防災倉庫の備蓄品について など ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ け や き 祭 ⑤静岡県防災センター見学			
関連教科	・ 国語「パンフレットを作ろう」				・ 理科「地層のはたらき」、国語科「作文」							
指導者協力者	・ 南伊豆町総務課防災係 山田さん ・ 渡辺 力さん（元静岡県防災職員）				・ 仲木区区長さん				・ 劇団ふじさん・仲木区区長さん・幼稚園児 ・ 静岡県防災センター・お世話になった方々			
反 省	①地域に起こった地震について取り上げているため、子供たちは取り組み方が、積極的だった。また、地域の人たちも子供たちのインタビューに対して、とても熱心に答えてくれた。				②慰霊祭でのインタビューから、「自分たちにできること」という視点で問題を見つけて追究した。今後、さらに自分たちの手で情報収集し、それらをまとめ表現していく活動につなげていきたい。				③子供たちの総合的な学習の核である、仲木地震にもどってスタートした。様々な知識をもって慰霊祭に参加することにより、子供たちの地震に対する恐怖と遺族の悲しみを、せつに受け止め以後の活動の意欲につながった。			
備 考												